

## 『ピンチをチャンスに』

近江八幡市教育長 日 岡 昇

令和 2 年度がスタートしました。

市民のみなさまもご承知のとおり、今年に入ってから世界中で深刻な事態になっている『新型コロナウイルスによる感染症』。各国とも懸命に対応しているものの、いまだに出口が見えてきません。日本も都市圏を中心に感染者が増加の一途をたどっています。本市も年度末の 3 月には学校や幼稚園を、国の要請を踏まえ、休校（園）させていただきました。その間、保護者や地域のみなさまをはじめ、多くの方々にご迷惑をおかけしましたこと、心からお詫び申し上げますと共に、各ご家庭でしっかり対応していただいたことに改めて感謝いたします。ありがとうございました。そんな中、卒業（園）式も①小規模②時間短縮の条件のもと、三つの密を避けるため各校園とも教職員一丸となって取り組み、立派な卒業（園）式を行っていただきました。子どもたちにとって少し寂しい式だったかも知れませんが、記憶に残る素晴らしい式だったと思います。令和 2 年度も入学式・入園式のみ行いましたが、その後 3 月に引き続き休校をさせていただいています。今後も状況によっては休校を延長せざるを得ないかもしれません。どうか情勢をご理解いただき、今後ともより一層のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、今回のコロナ騒動は誰もが予想だにしなかったことです。しかもこの新型コロナウイルスは発熱や咳を伴いながら肺炎を起こすだけでなく、時として命までも奪ってしまいます。人はこの地球上に存在し始めた時から、多くの伝染病と戦ってきました。そして多くの犠牲のもとワクチン等が開発され、今日まであらゆる伝染病に勝利してきました。そのおかげで近年は人類を恐怖に追いやるような感染症もなく平和な日々を送ることができていました。しかし残念ながら、自国の利益だけを追求し、戦争をはじめ人同士の殺し合いをした結果、同じ地球上に暮らしているながらそれぞれの国や同じ国の中でさえ貧富の差が生まれてきたり、宗教や経済、イデオロギーの違いでトラブルになったりと、数え上げればきりが無い状況です。私たちの住む日本はどうでしょう。他国から見れば、確かに街並みや建物はきれいで、公衆衛生も進んでいるかもしれませんが。他国に比べれば凶悪犯罪等も少ないかもしれません。しかし SNS 等での誹謗・中傷は絶えることはありません。そんな大人たちから影響を受けてか、子どもたちの中にもいじめがあります。今回のコロナ騒動は、そんな人類への戒めのような気がします。

いま私たち人類の敵はコロナウイルスです。有史以来最大の敵で人類にとって最大のピンチかもしれません。それでも未来を担う子どもたちのために、地球上のすべての人々が戦っていかなければいけない時です。今こそ世界が一つになって平和な世界を取り戻す時です。残念ながらいまだに他国を批判したり、連携を取らなかつたりする指導者もいますが、彼らがこのことに一刻も早く気づいて、一つになってがんばってほしいと心から願っています。

少し話が大きくなりすぎました。申し訳ないです。ただ私たちの住むこの近江八幡にも確実にコロナウイルスが音もたてずに近づいています。明日になれば、私もコロナウイルスに感染しているかもしれません。それでも、できることは粛々とやらなければいけません。今、学校や就学前教育施設は休校（園）していますが、校長や園長はその中で何ができるのかを、先生方や保護者・地域のみなさまと共に模索しています。まもなくその実情に応じて、いろいろな取り組みをされます。どうか変わらぬご支援・ご協力をお願いします。人にはそれぞれに役割があります。自分の役割を自覚し、知恵を出し合い一つになってがんばる近江八幡市でありたいものです。この最大のピンチを最大のチャンスととらえ共にがんばっていきましょう。